



五戸町 ため池ハザードマップ

柏木溜池

防災行政無線電話応答システム
☎ 0178-61-1106 (放送後24時間対応)

緊急通報ダイヤル

例えば、緊急通報ダイヤルではこのような対応です。
「こちら110番です。事件ですか？急病ですか？」
「こちら119番です。火事ですか？急病ですか？」
あわてず、あせらず、はっきりと、あなたの状況を伝えてください。

警察機関 110番
消防機関 119番



五戸町役場：〒039-1513 青森県三戸郡五戸町字古館21-1

Tel: 0178-62-2111 Fax: 0178-62-6317

五戸町携帯サイト

QRコード

http://www.town.gonohe.aomori.jp/

このマップは、※200年に一度の大雨が降り、皆さんの地域の農業用ため池が決壊した場合に最悪の条件を想定して作成したものです。

※200年に一度の大雨

最大日雨量：238.0mm/24h 1999/10/28

最大時間雨量：47.5mm/h 2015/8/11

(三戸観測所雨量データより算出)

地震発生時：

対象ため池の堤体が**気象庁震度6弱 計測震度5.5～6.0未満**を想定される範囲内にある為、強い揺れの地震発生時は**要注意**

もっと知ってほしい。街で見かける、このマーク

「ハート・プラス」マーク
身体障害者補助犬マーク
ヘルプマーク
盲人のための視覚シンボルマーク
耳マーク
障害者のための国際シンボルマーク

いざというときは

避難は可能な限り浸水がはじまる前に、動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に。必ず徒歩で！足元に注意して避難。

浸水区域内

- ため池直下：速やかに避難路を使って安全な場所へ。
- ため池直下以外：建物の2階などに避難し、水が引いたら避難所へ避難。

浸水深の目安

3.0m以上	2階の床上以上の浸水	避難困難
2.5～3.0未満	2階の床下までの浸水	
2.0～2.5未満	1階の軒下までの浸水	
1.5～2.0未満	大人の身長を超える程度	
1.0～1.5未満	大人の肩までつかう程度	
0.5～1.0未満	大人の腰までつかう程度	通行は危険
0.5未満	大人の膝までつかう程度	通行には注意が必要

柏木溜池 凡例

五戸町指定避難場所の公民館・集会所等	消防団屯所	県道
土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域	

五戸地区避難場所②(公民館・集会場等) 一覧

番号	施設名	収容可能人員	施設の面積(m ²)	給水・炊飯施設の有無	
				給水施設	炊飯施設
50	浅水上自治会館	31人	52	有	有
52	上豊川集会所	48人	79	有	有
53	下豊川集会所	48人	79	有	有
54	北向集会所	33人	54	有	有
55	関口集会所	16人	29	有	有

※五戸町地域防災計画(風水害編) 第4章 災害応急対策計画 第5章 避難より抜粋

柏木溜池
総貯水量 = 6,240m³

ため池決壊のメカニズム

区分	被災形態	被災メカニズム
越流	越流	豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出すと、下流斜面を崩下することによって、破壊する可能性がある。
破壊	堤体崩壊	貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内の水圧が増加し、堤体の強度が低下することによって、堤面部ですべりが発生し破壊する可能性がある。
すべり	パイピング	堤体内部に空洞が形成され、水を流す能力が低下すると、貯水位が上昇した時に堤体内の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する可能性がある。また堤体内に上流から下流に向かう水みちが形成し破壊する可能性がある。
クラック	クラック	堤体の頂部などにクラック(亀裂)が発生する可能性がある。堤体の上下方向に生じるクラック(亀裂)は水みちとなることもあり、特に注意が必要である。
沈下	沈下	堤体の形状を維持保ち、クラック(亀裂)など生じないが堤体が沈下する可能性がある。多くは軟弱な地盤で発生している。
斜面崩壊	斜面崩壊	堤体斜面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる可能性がある。
すべり	すべり	地震動により堤体の法面にすべりが発生する可能性がある。
崩壊	崩壊	堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する可能性がある。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の状況化によるものと考えられる。

ため池ハザードマップについて

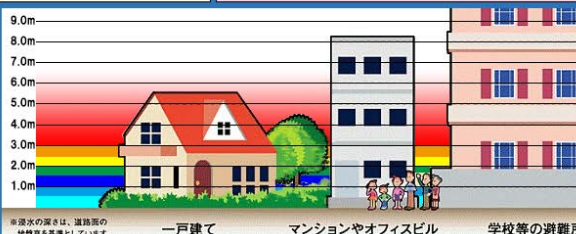
このマップは、農業用ため池が大雨等により、万が一にも堤が決壊し、皆さんの地域のため池の貯水が流出した場合を想定して作成したものです。近年のゲリラ豪雨(局地的大雨)や大地震時には特に注意し、浸水想定区域で居住または作業を行っている方は、速やかに2階など高いところに避難が必要です。ため池の貯水は、流出してしまうと徐々に水は引きますが、ため池の周辺には沢や川があるため、継続して雨が降っている場合は完全に水が引くまで高いところに避難してください。避難をするときには、テレビ・ラジオ等の気象情報をこまめに確認し、動きやすい服装で、事前に徒歩で足元に十分注意して避難を行ってください。

あなたの命を守るために

万一、安全な場所に避難できない場合でも、生命を守る最低限の行動として、近くで周囲の建物より比較的高い建物(鉄筋コンクリート等の堅固な建物)の2階以上に避難するようにしてください。

浸水深の目安

3.0m以上	2階の床上以上の浸水	避難困難
2.5～3.0未満	2階の床下までの浸水	
2.0～2.5未満	1階の軒下までの浸水	
1.5～2.0未満	大人の身長を超える程度	
1.0～1.5未満	大人の肩までつかう程度	
0.5～1.0未満	大人の腰までつかう程度	通行は危険
0.5未満	大人の膝までつかう程度	通行には注意が必要



雨の強さと降り方

10～20mm未満 やや強い雨	20～30mm未満 強い雨	30～50mm未満 激しい雨	50～80mm 非常に激しい雨	80mm以上 猛烈な雨
地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。	土砂降りの雨傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。下水が溢れ、小川川なら氾濫やがけ崩れの心配もあります。	バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備を。	滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。屋内で寝ている人の半数くらいが気づくほどの雨。中小の河川は氾濫し、水害発生の可能性が高まります。	滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。大雨による大規模な災害の発生する恐れが強くなります。避難指示等が出る場合があります。

緊急通報ダイヤル

例えば、緊急通報ダイヤルではこのような対応です。
「こちら119番です。火事ですか？急病ですか？」
「こちら110番です。事件ですか？急病ですか？」
あわてず、あせらず、はっきりと、あなたの状況を伝えてください。

消防機関 119番
警察機関 110番